

刊夕日卅月四

常磐每日新聞

定価 一部金銀一円二角五分
 廣告料五號十二字跡 行金五拾銭
 日曜祭日の翌日休刊
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日新聞印刷株式会社

創作：
空地

飯田俊輔

(二)

いくら止めても無駄だと知ると皆は丁度路から少し入った所に小さな空地があるのを知つて

「喧嘩するんならあんなでしろよ！」

と云つた。首肯くと常吉は、真つ先にすん／＼這入つて行つた。龍一は竹棒を手に提げて興奮に蒼ざめながら常吉の後ろから従つた。皆もぞろ／＼面白半分その空地へ行つて見た。ふだんから、此の二人は仲が好い方で無かつた。今日のも矢張りいつもの傳であらうと皆は思ふのだつた。

空地には一匹の茶色の大きな犬が眠つてゐたが皆が這入つて来たので、犬は驚いた眼つきをしながらジロ／＼少年達を見ながら逃げ行つてしまつた。

喧嘩はいよ／＼初まつた私と重男と朝次郎は小さな空地の隅で見てゐた。

常吉は身構へた。龍一は役者の子らしい動作で竹棒を振り冠つた。しかし常吉はその竹棒にも感じない様

に冷酷な表情でジツと身構へた。

「役者の子」と「ツンツン常」とは今やまさに相争はうとした。

先づ龍一は一撃喰はせようとして身体を動かし掛けた。其の刹那ヒューツと液体のやうな物が飛んで行つて竹棒をもつてゐる手へ當つた。龍一ははつとした様に擲るのをためらつた。第二の液体、第三の液体は飛んだ。視ると常吉は右の手を口のあたりへ持つて行つて唾を二本の指で握つて、バツと電光の様に相手へ投げ付けるのであつた。龍一の顔へその唾は飛んだ。ぎよつとして彼は厭な表情をした明らかに龍一は辟易して逡巡した。

龍一は竹棒をつ持てゐながらこの勝負は私達の裁断に依ると常吉の勝であつた其處で

「まあ、まあ／＼」

と云つて皆は仲に入つた龍一は非常に残念がつて居たが、どうも仕方が無かつた。

又一行は歩き出した、今度は誰もあまり噪がなかつた……

私は野原を歩きながら常吉の事を思つてゐた。又常吉の外の友達も思つてゐた。

生長するに従つて各々は相離れるやうになつた。誰も一つ家を集つて遊ぶやうな事はなくなつた。

常吉が十三才になつた時彼の父は肺病で死んでしまつた。つめたい暗い灰色の棟の下で。

十五才になつた頃彼の周囲には誰一人あなかつた。私も遠のいてしまつた。彼の春の頃、東京へ行つたパン屋の職人になつたのだ皆それ／＼苦しい時もあつたらう。その頃は私だつて苦しみの中に住んでゐた。私は朝次郎にさへ會へなかつた。直ぐ隣家の重男にだつて行會つた事は、一日のうちに一回位しかないのであつた。

常吉はその年の秋十月、病を得て古里へ歸つて来たそれは肺病だつた。彼は彼の父と同じ病氣になつて蒼白い顔をして歸つて来たのだ。

そして、間もなく彼は死んだ。淋しく誰にも見えなかつた常吉は死んで行つた私は茫々たる草の上を歩きたながら明るい花の様だつた少年時代を考へた。さうして死んだ常吉のことを考へた。

小鳥がチチチと鳴いてゐた

(完)

高久病院

院長 醫學士 高久 忠
 副院長 新潟醫學士 赤羽 清
 藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
 平町田町 電話五一三番

内科小兒科 外科花柳病科
 耳鼻咽喉科 レントゲン科

御通學には

魂の這入つた

フタバの自轉車で

責任保證付。總クローム
 東京製新車 二十五圓ヨリ
 一年保證中古車 十圓前後

フタバ式リヤカー發賣元

フタバ商會

平。新川町。月見橋際

見習生二名採用

吸入用酸素純度99%

度量モノサシ
 重量マ ス
 温度計
 寒暖計

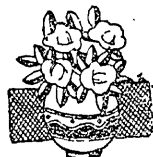
秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス

關内藥局

寫眞材料一式販賣致シマス

電話四〇番

美しい花の種子



巨大輪七寸咲朝顔が参りました
 毎度御好評をいただいて居ます
 横濱植本會社の輸出向特撰種子
 です「草花種子の蒔き方」差します

西村屋藥房種子部
 平 2 電 3

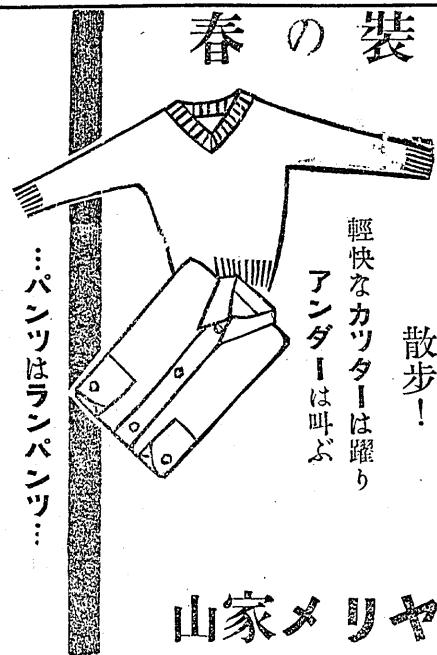
34年型新車購入

春！さくら咲く四月

快ろよい微風が頬をかすめて
 吹く……野邊に、海邊に
 アナタのリーベとの遠乗りに
 散策に一御私用に一是非御愛
 乗下さい。
 セリザワのニュー・カーを！

平。三 芹澤タクシー
 電 3 9 5

春の装具



春！

花！

散步！

軽快なカッターは躍り
 アンダーは叫ぶ

……パンツはランパンツ……

山家メリヤス店

湯長谷の舊藩主

内藤子の雄圖

遠く異邦の空南洋へ

家運の挽回を期して

磐崎村大字下湯長谷へ舊湯長谷藩主内藤政忠氏の一家は悲しくも没落して不遇な生活を續けられたが今回家運の挽回のため意を決して單身遠く異邦の空南洋スマトラ工業會社の一技手として住込み後日の大成を期することになりけふ家族親戚の本多子爵舊藩士その他に見送られ泉驛發午後三時四十五分の列車で東京、來月五日横濱解纜の横濱丸

で波濤を越える筈であるが同子爵は本年三月東京工手學校を卒業した未だ二十六才のうら若い青年學生時代よりテニスのチャンピオンとして軟式界に雄名を馳せた人藝洲藩主毛利家を縁戚にもつ名門だけに世が世なれば華胄界の新人として輝かしき明日の生活を夢みてゐらるゝものを……非常時日本の窮迫した悲しき一面である

平商攻撃の鋭鋒

見事復讐戦成る

磐中一勝の後を受けた磐中對平商第二回野球戦は二十九日午後一時四十五分から磐中球場で熊、水竹、阿部三氏

審判の下に平商の先攻で開始した、磐中一回早くも二点を先取して氣勢を揚ぐるや復讐の意氣漲る平商は磐中石川投手の不調に乗じ猛打を放つて

敵の内野陣を混乱させて二、三、四回に合計八点を獲得六点をリードして

勢を決す以後兩軍の打撃振はず投手戦の形を續けたが九回平商一点を加へて九對二で平商に凱歌揚る、閉戦四時二十五分、

連日の見學にさうか疲勞を覺えたれども一行氣〇に二見の御來迎を拜さんと四

隊より

一ノスコアで磐中一勝す

商	14031002011
平	00156502120

中 200000000002
 平 01340000019

澤村神社を前に

農村改善の協議

草野村の中堅農民が

草野村に於ける石城中堅農民講習卒業生は現在約三十名あるがこれら卒業生が眞に農村の中堅として今後同村農家の改善に協力活躍することになり五月一日午前十時から同村澤村神社の神前に於いて第一回の打合せを行ふが郡農會より青山技手出席すると

赤井堆肥積替 赤井村農會主催の堆肥積替へ作業は來月三、四兩日に施行されるが郡農會青山技手出席する

磐中大勝

對平商一回戦

磐中對平商第一回戦は二十八日午後三時から磐中球場で水竹氏審判磐中先攻で開始兩軍とも練習不足のためか亂戦に終始結局二十對十

時半起床、されど朝靄深く伊勢の海をたちこめて遂に拜する能はず。午前七時宿を立ち内宮へ向ふ、五十鈴の清流に先づ身を漱ぎ心を清めて神前に額づき皇國の彌榮を祈願し奉る。神苑に古りて木立鬱蒼たり、神

長柴田武雄
 互助實行委員 大浦村長木村清治氏は過般福島で開かれた第一回町村委員互助會の評議員並に實行委員に任命された

訓官院評議會 磐城訓官院では三十日午前十時から評議員會を開き先に理事會に於て決議した豫算決算案承認の件を附議した

堆肥増産講習 錦村農會主催の堆肥増産講習は來月一、二の兩日同村小學校に於て行はれ、郡農會柴田技手出席する

工業所側快勝 磐城セメント四倉工業所對同東京本社野球戦は二十九日午後一時から工業所グラウンドで舉行十一對五で工業所快勝した

磐女對抗球技 磐女では來月四日午後一時より同校三年對四年の排球並に籠球試合を行ふと

平町人事
 △中二 酒井利七氏三女

清子さん
 回死 亡
 △鎌田町五二 高橋伊勢松氏(七五)
 △鍛冶町一三 同府田一良氏(二四)

體操部
 關内藥局
 電話二〇〇番

貸切り
 專門優良車
 乗心地の超特快適な
 フォード最新型購入
 何卒御用命願ひます
 平町四丁目
 鈴木自動車
 タクシー部
 電話二一七番

旭屋一六銀行
 御利用を盛んに御取扱中
 四百二十五番の電話次第
 御便宜直様御取進ひ致します

玉屋洋品店
 平町田町通電話六五六番
 店員募集
 年齢十五、六歳
 希望者は至急來店あれ



櫻の後を受けて

ツ、ヂの開花を

待つ松ヶ岡公園

今しばしは憩ひの眠り

櫻の散り果て、歡樂の夢覺めた松ヶ岡公園は今しばし憩ひの眠りに入つた姿であるが早くも脚躑の

花季が訪れやうとし

てゐる、同公園の脚躑は夏井川溪谷の岩つづちと共に東北に冠たるもので園内千數百株の紅、紫、白色とり

王者の観あり最近益々認められ

客が激増しつゝあるが平町でも一層宣傳すべくピラバ

ンフレットを印刷して各方面に配布、掲示して遊覧客の吸集に大重であるが

同期間 中は第一公園

内に百三十の雪洞と三ヶの照明燈を点燈して夜間にも便ならしむる様々準備を進めて居り今から開花の時期を待望祝されてゐる

公園公衆電話 平局

では松ヶ岡公園つづちの季も漸く迫つて来たので來月五日から三十日まで第一公園に公衆電話を設置すると

明日のメーデーに

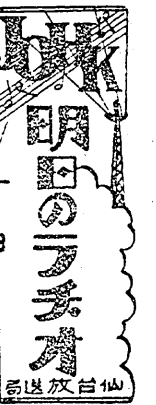
平署の眼光る

五月一日、明日は勞動祭メーデーだ、各炭礦地帯はこゝ數年來特筆すべき運動は起さなかつたがその實、裏面的にはアデ。メラ、不穩文書等の散布等あり昨年は内郷村では數十八の自由勞動者が大學村役場に押かけ

店頭窓飾 審査決定

ツルヤ洋品が

三回連續特選 いはき新報社高木喬君主催第四回店頭並にツルヤ洋品が審査決定審査會は去る廿八日午後七時より常磐銀行平支店樓上に於て鈴木邦三郎氏を審査委員長として



明日の天気 今晩は南西の風 天氣良し明日は 北西風晴曇半す

今晩の部

後六、〇〇 子供の時間 お話「函館大火について 全國の皆様へ」函館市東川小學校校長外尋常六年生 後六、二五 基礎佛語講座 (七)丸山順太郎 後七、三〇 趣味講座「釣談義」永田秀次郎

酒店

△店頭(特選)大谷時計店 (二等)なかや洋服店(二等)ウシク子洋服店 (佳作)松月堂菓子店 伊關吳服店 遠藤パン店 松本菓子店 北海屋商店 大一屋荒物店 山城屋商店 入江商店 石川菓子店 佐々木商店 金子屋

七間長との鯉職

明日から第二校庭に

既報皇太子殿下初御節句を奉祝する為め平第二小學校生徒が材料を持寄つて製作中であつた鯉職は此程長さ七間で見事に出来上つたので明日から校庭に建つる由平町一の大鯉職であると

刑務所を

出で又盗む

箕輪村大字高野高萩菊雄(三)は去月四日福島刑務所を出所後石城地方に流れ込み湯本町を中心として各地から數件の窃盜を働らいてゐること發覺三十日平署員

明日の部

前六、三〇 基礎獨語講座 橋本忠夫 前七、二〇 聖典講義(二) 高神覺昇 前八、〇〇 母の講座 「赤ちやんの心の育て方」 (四)高良富子 後八、〇〇 五映畫物語「街の灯」細川曉光 後九、〇〇 家庭婦人講座 「畫家の見たる鯉」水上泰生 後九、〇〇 博多ドンタク 實況 福岡城内廣場中繼

乳幼児愛護宣傳

二日から一週間に亘つて

本縣並に本縣社會事業協會主催の第八回乳幼児愛護週間は來月二日より一週間に亘つて實施されるがこれを機として平町でも乳幼児愛護知識の普及を圖るため乳幼児愛護のパンフレットリーフレット及び妊娠婦及幼兒保育に關する印刷物を平第一、二、三の各小學校生徒を通じて各戸に配付し又各兒童に之が講話をする

裁判所より

△双葉郡開塚村字下多田二二農江又二千雄(三)は昨年十一月中無免許にて自宅附近に箱罌を置いて牡鹿一匹を捕獲し此程平區裁判所に略式命令により罰金廿圓に

水道斷水通告

平町田町地内(平驛前)新舊配水管連絡工事施行の爲左記個所今三十日午後十時より明日午前二時迄水道斷水すると

無錢遊興檢舉

當時住所不定青森縣生れ無職星野末吉(三)は二十九日午後十一時頃平町商町料理業中

木村外科醫院

門專 科病柳花外

院醫科外村木

際橋目丁六町平 〇九三話電

りあ便の院入炊自

近斬首頭

(禁駭駭上及上讀)

田邊南龍(作)
山本英春(監)

一九
非人を斬つて

『オイお婆さん、今歸つたよ』
聲を掛けると中から八十年ばかりの年寄が杖にすがりながら出て参りまして

『ヤ、太郎吉や、御苦勞々々……夫はさうと、お前顔色が好くないが何處か身體でも悪いんぢやアないか』

『ナニ婆さん、別に何處も悪かアねえが、何だか息切れがしてなんねえ水を一杯呉れろ』

『夫ア困つたの、息切れをするやうぢやア大切にしないけりやア駄目だ、伴にも嫁にも先立たれ、頼みに思ふのは汝一人だ煩つて呉れるなよ、今何を藥見附けてやるだから』

老婆が茶碗に水を汲んで来て

『サア飲みなよ』

『どうも年寄ちを使つて濟まねえの、今にお前にも樂をさせるだから何日までも丈夫で呉れろよ、ナア婆あさん』

茶碗の水をゴツクリ呑むと同時に太郎吉ヒョロヒョロと踏んだと思ふと、腰の番

ひから二つに分れて、バツタリ倒れました、吃驚した年寄は

し、餘りの驚きに其儘息は絶へました其の騒ぎに近所の者も集まつて来てソレ

醫者よ、棺桶よ、寺よと騒いでゐる。流石の権八後悔をして暫らく様子を見てゐ

たが見かねたものと見えてズカ／＼と夫へ進み

『深い仔細は存せぬが、餘りに氣の毒の様子聊か回向として進せやう』

と三兩の金子を夫へ差出しました。之が現在太郎吉の敵とは知らないから近所の人達は大きに喜び

『御親切の且那樣、定めし佛も喜びませう』



判にも、感心な男よ今に出世をするだらうと云はれたお前が此の最后、どういふ病氣か知らないが身體が二つに別れるとは何たる因果の事ぢややら、天道様も聞えません』

と前後不覺に泣込んでゐたが老人の事として餘りの悲

るのは甚だ罪な話だが、之といふ職もなく毎日毎夜雨露に曝され、人の殘飯を貰つて食す乞食の如き者定め

し甲斐がないに相違ない彼等は意氣地なく自殺をする事も出さず、時節の來つて倒れ死に待つてゐるのに

違ひない、左様な者を斬て捨てたと誰一人歎く者もなく殺潰し一人減らせば天下の爲にも相成る之は宜い

事を考へた、そこで之よりは非人を切つて腕の凝りを取つてやらうと自分勝手の理窟を付け其の夜権八大音

寺前をさしてやつてきた。權八が大音寺前へ來ると古下駄を枕にし劍菱の菰を着て寝てゐる一人の乞食がゐ

た。

と禮を述べられて權八も心苦しく思ひながらその場を立去りました、一時は夫に凝りて權八辻斬りを止めたが、どうも二三日人を殺さずにはゐると腕がむず痒くなつて堪らない、そこで腕を組んで考へたが此間の魚賣人の如き人を斬

るのには甚だ罪な話だが、之といふ職もなく毎日毎夜雨露に曝され、人の殘飯を貰つて食す乞食の如き者定めし甲斐がないに相違ない彼等は意氣地なく自殺をする事も出さず、時節の來つて倒れ死に待つてゐるのに違ひない、左様な者を斬て捨てたと誰一人歎く者もなく殺潰し一人減らせば天下の爲にも相成る之は宜い事を考へた、そこで之よりは非人を切つて腕の凝りを取つてやらうと自分勝手

の理窟を付け其の夜権八大音寺前をさしてやつてきた。權八が大音寺前へ來ると古下駄を枕にし劍菱の菰を着て寝てゐる一人の乞食がゐた。

耳鼻咽喉科専門

大和田醫院

平町南一丁目七番

電話 六一〇七

市原醫院

平町田町

電話 一一四番

營業所移轉廣告

従前タクシー及トラック營業に對し格別御引立に預り有難く御禮申上候、今度營業所を左記へ新築移轉し營業の合理化としてトラック營業單一擴張をしい意専心努力なす可候間何卒舊に倍し御愛顧の程願上候、したがつてタクシー營業は當分の間休業仕候、四月十八日

新營業所
白銀町十番地

松崎自動車商會
電話三九二番

ゼアラの自轉車 代理店
宮田自轉車

平局御用 **エビスヤ自轉車店**

宮田自轉車九年度郵便局納め
五千二百輛

小店員入用 貳名(五、四才)

磐城共濟病院 (福島縣平町) (電話六四一番)

小兒科	院長 石山謙郎
婦人科	副院長 五十嵐雄二 (電話三七〇番)
外科	部長 齊藤七五三男
耳鼻咽喉科	部長 澤正 (電話二七二番)
皮膚泌尿器科	部長 山謙郎
花柳病科	部長 山謙郎
X光線科	部長 山謙郎
衛生試驗所	部長 山謙郎
藥劑師	局長 高木孝平
事務	局長 鈴木寶雄

◎毎日午前八時ヨリ午後十時迄診療
◎夜間診療開始(毎夜午後十時マデ)
◎病室完備 入院隨意

貴方の御家庭に
お手不足は御座いませんか
本會を御利用下さい
直に家政婦を派出します

親切に料金は極めて低廉で
妊産婦の御家庭にお留守居番
御病人の付添 年寄やお子さんの付添
炊事や雑用

派出所に付會員至急募集
平町紺屋町二(電話呼六五二)

上原家政婦會
會主 産婆 上原通子

耳鼻咽喉科専門

鈴木醫院

醫學士 鈴木正男

平町田町(電話五八番)
藤田女學校前

自炊のお需めに應ず
入院の便あり